Business Use

様式第二号の九（第八の四の六関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和８　年　６　月 25 日

（宛先）高崎市長

提出者

住　所 群馬県高崎市八幡町３２１番地

氏　名 ピー・アンド・ジー株式会社　高崎工場

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 027-328-6300（代表）

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和７年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	ピー・アンド・ジー株式会社　高崎工場
事業場の所在地	群馬県高崎市八幡町３２１番地
事業の種類	化学工業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和　7 年 4 月 1 日 ～　令和 8 年 3 月 31 日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	8253.266　t	全処理委託量	8253.266　t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0　t	優良認定処理業者への処理委託量	8091.172　t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0　t	再生利用業者への処理委託量	2632.383　t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0　t	認定熱回収業者への処理委託量	191.969　t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0　t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	5248.915　t

※事務処理欄

（日本産業規格　Ａ列４番）

Business Use

（第２面）

添付資料１参照

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　）

項目	実績値
①排出量	
②＋⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

Business Use

添付資料　1

名　称	現状／計画	計画 A 排出量 (t)	B 自ら再生利用を行った量 (t)	C 自ら熱回収を行った量 (t)	D 自ら中間処理により減量した量 (t)	E 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 (t)	F 産業廃棄物の全処理委託量 (t)	G 優良認定処理業者への処理委託量(t)	H 再生利用業者への処理委託量(t)	I 認定熱回収業者への処理委託量(t)	J 認定熱回収業者以外の熱回収業者への処理委託量(t)
産業廃棄物の種類	前年度実績／今年度の計画	当該事業場において生じた産業廃棄物の種類ごとの量	Aの量のうち、自ら再生利用した量	Aの量のうち熱回収を行った量	Aの量のうち、自ら中間処理により減量した量	Aの量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	中間処理及び最終処分を委託した量	Fの量のうち、優良認定処理業者への委託処理量	Fの量のうち、処理業者への再生利用委託量(I、J除く)	Fの量のうち、認定熱回収施設設置者である処理業者への焼却処理委託量	Fの量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
汚泥	現状	47.732	0.000	0.000	0.000	0.000	47.732	47.732	0.000	0.000	47.732
	計画										
廃油	現状	99.630	0.000	0.000	0.000	0.000	99.630	99.430	0.000	0.200	99.430
	計画										
廃酸	現状	6365.105	0.000	0.000	0.000	0.000	6365.105	5599.725	1310.660	193.230	4861.215
	計画										
廃アルカリ	現状	671.790	0.000	0.000	0.000	0.000	671.790	622.440	529.370	0.000	142.420
	計画										
廃プラスチック類	現状	350.550	0.000	0.000	0.000	0.000	350.550	125.910	230.130	0.000	120.420
	計画										
木くず	現状	84.290	0.000	0.000	0.000	0.000	84.290	0.000	84.290	0.000	0.000
	計画										
金属くず	現状	34.559	0.000	0.000	0.000	0.000	34.559	0.000	34.559	0.000	0.000
	計画										

Business Use

添付資料　1

名　称	現状／計画	計画 A 排出量 (t)	B 自ら再生利用を行った量 (t)	C 自ら熱回収を行った量 (t)	D 自ら中間処理により減量した量 (t)	E 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 (t)	F 産業廃棄物の全処理委託量 (t)	G 優良認定処理業者への処理委託量(t)	H 再生利用業者への処理委託量(t)	I 認定熱回収業者への処理委託量(t)	J 認定熱回収業者以外の熱回収業者への処理委託量(t)
産業廃棄物の種類	前年度実績／今年度の計画	当該事業場において生じた産業廃棄物の種類ごとの量	Aの量のうち、自ら再生利用した量	Aの量のうち熱回収を行った量	Aの量のうち、自ら中間処理により減量した量	Aの量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	中間処理及び最終処分を委託した量	Fの量のうち、優良認定処理業者への委託処理量	Fの量のうち、処理業者への再生利用委託量(I、J除く)	Fの量のうち、認定熱回収施設設置者である処理業者への焼却処理委託量	Fの量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	現状	0.130	0.000	0.000	0.000	0.000	0.130	0.000	0.130	0.000	0.000
	計画										
廃電池類	現状	0.090	0.000	0.000	0.000	0.000	0.090	0.000	0.090	0.000	0.000
	計画										
水銀使用製品産業廃棄物	現状	0.110	0.000	0.000	0.000	0.000	0.110	0.000	0.110	0.000	0.000
	計画										
複合材	現状	17.001	0.000	0.000	0.000	0.000	17.001	0.000	17.001	0.000	0.000
	計画										
	現状										
	計画										
合計	現状	7670.987	0.000	0.000	0.000	0.000	7670.987	6495.237	2206.340	193.430	5271.217
	計画										

Business Use

備考

１　翌年度の６月30日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載にした目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、（１）から(14)に掲げる量を記入すること。

（１）　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

（２）　②欄　（１）の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

（３）　③欄　（１）の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分をした量

（４）　④欄　（１）の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

（５）　⑤欄　（４）の量のうち、熱回収を行った量

（６）　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

（７）　⑦欄　（４）の量から（６）の量を差し引いた量

（８）　⑧欄　（６）の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

（９）　⑨欄　（６）の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　※欄は記入しないこと。